

三井住友信託銀行 大山一也社長 スペシャルオリンピックス日本 平岡拓晃理事長

三井住友信託銀行（SMTB）は、スペシャルオリンピックス日本（SON）の活動理念に共感し、2024年4月にパートナーシップ契約を締結しました。

2024年7月23日、SON・平岡拓晃理事長がSMTB本店ビルに訪れ、SMTB・大山一也社長と対談を行いました。障害の有無に関わらず、個性や特性を活かして全力を出し切ることやチームとして互いに学び成長し合うことの大切さなど、熱い会話が繰り広げられました。今回は、このトップ対談の内容を4章に分けてお届けします。



Chapter.1 スペシャルオリンピックスとは

01. スペシャルオリンピックスの 始まり、そして特徴とは

【平岡理事長】 スペシャルオリンピックスはアメリカで生まれました。創設者であるケネディ元大統領の妹 ユニス・ケネディ・シュライバーが、姉のローズマリ―に知的障害があったことから、知的障害のある人たちの可能性や能力を誰よりも信じ、自宅の庭を解放して知的障害のある人たちを招き、デイキャンプを行ったのが始まりです。

アメリカでは認知度が高く、私は今、アメリカ人講師に英会話を習っているのですが、スペシャルオリンピックス日本のCEOだと話すと驚かれます。

スペシャルオリンピックスの特徴として、いつも聞かれるのは「パラリンピック」と何が違うのか、ということです。パラリンピックは、全ての障害のある人が参加できる4年に一度の祭典ですが、知的障害のある人が参加できる競技は3種類しかなく、高い競技能力を競います。一方、スペシャルオリンピックスでは、オリンピックの競技に準じて、夏季は27競技、冬季は9競技が行われています。

特徴の1つに「ディビジョン」というものがあり、年齢や性別、競技能力などが

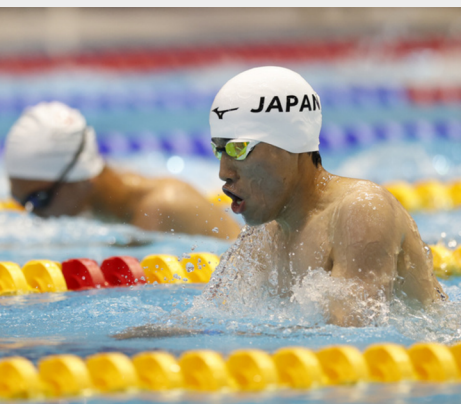


スペシャルオリンピックス創設者の
ユニス・ケネディ・シュライバー氏

同程度になるようにクラス分けを行い、競います。順位に関わらず全員が表彰台に上がって表彰される「全員表彰」も特徴です。私も今まで色々なスポーツ大会に出ましたが、3位以上しか表彰されないため、そこに届かなかった時は、「それ以下はみんな一緒なのか」と思ってしまったものです。



フロアボール（ユニファイドスポーツ®）の様子



ディビジョンにより、現在の能力を発揮し、一番輝く機会を得られると考えています。



アスリートひとりひとりの競技能力に合わせてプログラムを提供しています。



表彰台の上では全てのアスリートにメダルやリボンがかけられ、最後まで競技をやり終えた事に対して、一人一人に変わらぬ拍手が贈られます。

「平岡理事長」今、「ユニファイドスポーツ®」という、知的障害のある人となない人がペアやチームを組み、協力しあって一緒にプレイする形式が広がっています。障害のある人のためだけではなく一緒に「with us」の世界を作っていきたいという方向に進んでおり、すごい勢いで世界に浸透してきているな、という印象を受けます。また、スペシャルオリンピックス日本では、「Be with all」というスローガンを作りました。私が本日着ているこの柔道着にも入っています。社会に対するメッセージをどんどん取り入れ、ユニファイドにもかけて、アスリートもコーチもそれぞれの地域社会も共に成長していきましょうという思いを、この一言にまとめました。

02. ユニファイドスポーツ®というSO独自の取り組み

スペシャルオリンピックスでは、活動に参加する知的障害のある人たちは「アスリート」と呼ばれますが、アスリートは他人と比べるのではなく、自分の努力の過程に着目し、全員の表彰台に上がり表彰されます。

また、スペシャルオリンピックスは「オリンピック」のような複数形で表されますが、これは、日頃練習している回数や、年間の競技大会の数、そこに関わるコーチや支えるファミリー、そしてボランティアの皆さまの数を含めているからです。



「Be with all」...アスリートもコーチもそれぞれの地域社会も共に成長していきましょうという思いを、この一言にまとめました。